

## 授業科目

## 義肢装具自立支援概論

担当教員名 東江 由起夫	対象学年	1	対象学科	義肢
	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	30

## ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	○	◎	○	○

## 授業の概要

義肢装具ならびに福祉用具等を通して障害者と高齢者のQOLをサポートする専門職の役割を理解するために、義肢装具と福祉用具の概要について学ぶ。またこれらを体系的に理解するために、その定義や種類、分類について学ぶ。

## 授業の目的

義肢装具ならびに福祉機器・用具を取り巻く業界や歴史、現状と展望についても理解を深める。

## 学習目標

1. 学科が目指す専門職像について説明できる。
2. 義肢装具ならびに福祉用具に関する定義と分類、用語について説明できる。
3. 義肢装具ならびに福祉用具を必要とする対象者について説明できる。
4. 義肢装具士法について理解している。

## 授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	ガイダンス、学科が目指す専門職像	講義	東江 由起夫
2	解剖(身体の名称)	講義	東江 由起夫
3	義肢を必要とする対象者：上肢切断と義手（用語・定義・分類1）	講義	東江 由起夫
4	下肢切断と義足（用語・定義・分類2）	講義	東江 由起夫
5	義肢の用語・定義・分類3	講義	東江 由起夫
6	義肢まとめ	講義	東江 由起夫
7	靴の業界とその歴史,関わる専門職の業務と役割	講義	東江 由起夫
8	車いす・シーティングの業界とその歴史,関わる専門職の業務と役割	講義	東江 由起夫
9	装具を必要とする対象者（用語・定義・分類1）	講義	東江 由起夫
10	装具の用語・定義・分類2	講義	東江 由起夫
11	装具の用語・定義・分類3	講義	東江 由起夫
12	装具まとめ	講義	東江 由起夫
13	海外における義肢装具の現状	講義（外部講師）	
14	義肢装具士法,義肢装具士の業務と役割,日本義肢装具士協会の成り立ち	講義	東江 由起夫
15	まとめ	講義	

## 使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書	義肢装具学 第4版	編集：川村 次郎 ほか	医学書院	2009年	7,000円+税	ISBN978-4-260-00510-4
	入門義肢装具	日本義肢装具士協会監修	医歯薬出版	2008年		
参考書						
その他の資料	教員作成資料					
	資料：パワーポイント配布					

## 評価方法

以下の三項目から評価する

1. 最終試験70%
2. 小テスト20%
3. レポート10%

#### **履修上の留意点**

\*原則、授業の1/3を欠席した者は、科目評価資格を失うものとする。また欠席1回につき-3点、遅刻1回につき-1点、遅刻2回につき-3点を、最終評価から減点する。

#### **オフィスアワー・連絡先**

研究室 : L304

連絡先 : [agarie@nuhw.ac.jp](mailto:agarie@nuhw.ac.jp)

授業に関する質問等の連絡先については授業開始時に履修者にお知らせします。